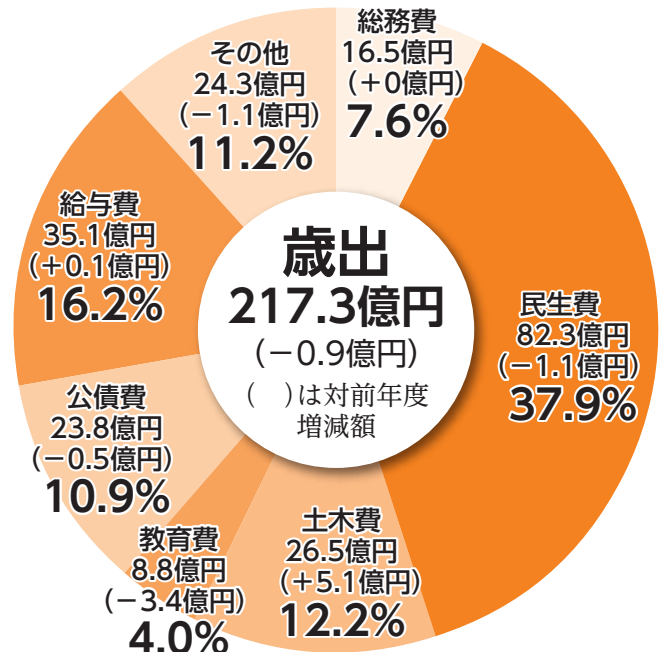
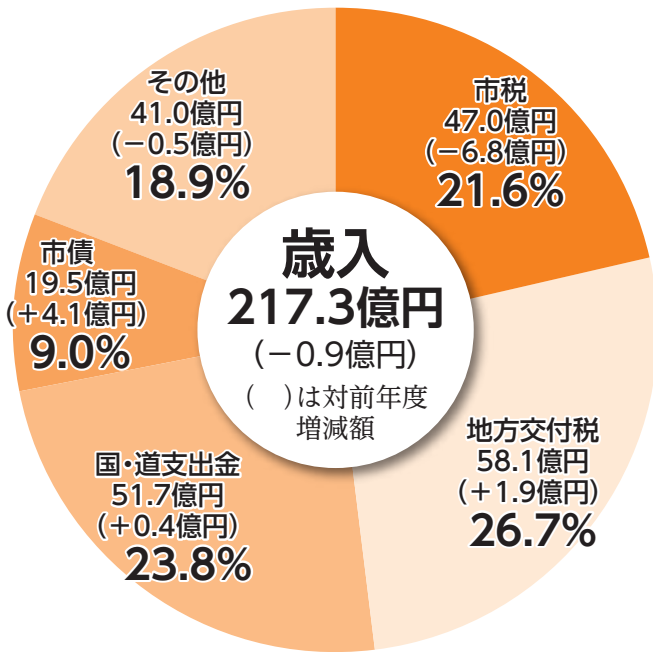


# 令和3年度当初予算

Initial budget

## 一般会計 *General account*

福祉や教育、公共施設の整備など、市の基本的な事業を行うための予算



歳入においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税の減少が見込まれるものの、地方交付税や特定の事業に対して交付される国・道支出金が増加したほか、千代の台団地の建て替えや（仮称）登別市情報発信拠点施設の整備を予定しているため、市債が増加しました。

一方、歳出においては、千代の台団地の建替事業費などにより土木費が大きく増加したものの、小中学校耐震化・改修事業の終了に伴い教育費が大きく減少しました。

## 特別会計 *Special account*

国民健康保険や介護保険など、用途が決まった収入（保険料や使用料など）で特定の事業を行うための予算

会計名	予算額	前年比
国民健康保険	50億5,420万円	▲1億6,540万円
学校給食事業	3億6,670万円	▲1,600万円
介護保険	40億5,130万円	1億5,320万円
カルルス温泉スキー場事業	1億450万円	▲350万円
後期高齢者医療	8億5,950万円	3,910万円
計	104億3,620万円	740万円

## 当初予算における 財源不足は解消

結果、令和3年度の一般会計予算は、217億3千200万円（前年比9千300万円減）となり、毎年度行ってきた財政調整用基金からの取り崩しをせず、記録が残る平成元年度以降で初の均衡予算となりました。

しかし、今後も老朽化した公共施設の更新や大型事業が控えており、一定の蓄えが必要となるため、できるだけ基金残高を確保し、将来にわたって安定的な財政運営が図られるよう、引き続き、収入の増加や支出の節約に努めていきます。

## 公営企業会計 *Municipal utility account*

民間企業と同様に、独立採算を原則として行っている事業にかかる予算

会計名	予算額	前年比
水道事業	28億6,300万円	9億7,150万円
下水道事業	32億5,080万円	▲6,980万円
簡易水道事業	5,120万円	▲750万円
計	61億6,500万円	8億9,420万円